

“ふじのくに美しく品格のある邑”から季節の情報を発信

むらのおと

季刊誌「むらのおと」
Vol. 27
2020 Autumn

むらとりっぷ mura tripの 富士・富士宮エリア (富士市・富士宮市)

- 袖野の里 ● 白糸の里
- 南条の里 ● 内房の里 ● 天子ヶ岳の里
- 五感で癒される湧水の里いのかしら
- 岩本山とかりがね堤を守る邑
- 富士山のふもとの郷を守る邑
- 大淵笹場



むらの声 mura note file

- 小瀬戸(静岡市)
- 本郷(藤枝市)
- 三ヶ日みかんの里(浜松市)
- 日本二前向きな地区！前向(湖西市)

小谷あゆみの「むらレポ」Vol. 18

フィールドワークレポート
藤枝北高等学校 ● 水窪地区(浜松市)

Foreigner's Eye ● 加増野(下田市)
イベントカレンダー



季刊誌「むらのおと」

vol.27
2020
Autumn



2020年10月15日発行
● 発行/「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県経済産業部農地局農地保全課 ☎054-221-2714 FAX054-221-2809

無料

しずおか
農山村サポーター



募集

来て! 食べて! 見て!

魅力いっぱいの 農山村を応援しよう

まずは登録!
あなたのちょっとしたアクションが、
農山村を盛り上げることに繋がります。

スマートフォンからでも簡単に!



Facebook を読みとると...
www.facebook.com/shizuokamurasapo/



地域の情報が一目でわかる!



来て!
イベントや農業体験、
ボランティア活動



見て!
棚田や茶園、
花畑など季節の
美しい景観



食べて!
旬な農産物や
特産品

HPや
Instagram、
メルマガも!!

企業や
大学も
大歓迎!

- ◎農山村を応援する法人・団体として「むらサポ」WEBサイトで紹介します。
- ◎企業の強みを農山村支援に活かしたい! → 支援を求める農山村とマッチングします。

むらサポ しずおか
農山村サポーター



公式ウェブサイト
www.shizuoka-murasapo.net
しずおか むらサポ 検索



Instagram
www.instagram.com/murasapo/

ふじのくに
美しく品格のある邑
Charming and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"
「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合



公式ウェブサイト
<http://www.fujinokuni-mura.net>
美しく品格のある邑 検索



Facebook
www.facebook.com/muradoki/
ふじのくに美しく品格のある邑づくり
情報発信チーム「邑ドキッ!」

むらの声 mura note file

- 03 #01 小瀬戸 (静岡市)
- 05 #02 本郷 (藤枝市)
- 07 #03 三ヶ日みかんの里 (浜松市)
- 09 #04 日本一前向きな地区!前向 (湖西市)
- 11 小谷あゆみの「むらレポ」Vol.17
千框の棚田 (菊川市)
- 13 フィールドワークレポート
田方農業高校
水窪地区 (浜松市)
- 14 Foreigner's Eye
加増野 (下田市)
- 15 むらとりっぷ【富士・富士宮エリア】
 - 柚野の里 ● 白糸の里
 - 南条の里 ● 内房の里
 - 天子ヶ岳の里 ● 大淵笹場
 - 五感で癒される湧水の里いのかしら
 - 岩本山とかりがね堤を守る邑
 - 富士山のふもとの郷を守る邑

17 イベントカレンダー

表紙/一の宮の里(森町)
水田や四季折々の景観が広がる一宮では「一宮の水と環境を守る会」による農村環境を次世代に残す取り組みをはじめ、一宮米などのブランド化も積極的に進められています。(第5回静岡県農農村の魅力フォトコンテスト入賞作品/「冬支度」松浦嘉人)



「虹と夕焼け」森町南部(周智郡森町)/鈴木信子氏 フォトコンテスト入選作品



日本一高い富士山や日本一深い駿河湾など、変化に富んだ地形と清らかな水に恵まれた静岡県は、農作物や水産物の品目数において全国トップクラス。この豊かな食材を生産する県内の農山漁村には、棚田や茶畑といった美しい風景に加えて、古くから伝わる文化や伝統が息づく地域それぞれの「宝(資源)」があります。

「ふじのくに美しく品格のある邑」とは、地域の宝を大切に思い、それを守り、次世代につなげていこうとする人々が集まって、真摯に活動を行う理想の農山漁村として「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合が認定した地域(邑)です。平成24年度に県内35市町の45地域が認定されたのを皮切りに、毎年登録数が増え続け、令和2年10月現在で141地域が名を連ねています。

「ふじのくに美しく品格のある邑」は、深い山々に囲まれた山間地の集落から、周囲が市街地化された農園まで、その個性はさまざまです。周辺環境だけに留まらず、規模の大小、文化や歴史、特産品や名物など、137の地域にはそれぞれに特徴があり、県全域で多彩で多様な魅力を形成しています。

また、そこで活躍する人々も魅力的です。自分たちの地域を愛し、活動に誇りを持つ人たちの自信に満ちた姿は、訪れる人にとって、忘れられない「美しい思い出」となるはずです。

「ふじのくに美しく品格のある邑」の詳細な情報は連合のホームページにあります。魅力的な場所、地域の特産品、参加できるイベント情報なども掲載されているので、まずは気になる邑を訪ねてみましょう。



登録
141
邑

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは、邑づくりの趣旨に賛同した県内全35市町、静岡県が会員となり、「美しく品格のある邑」の魅力向上やブランド力強化のために、広報活動、情報収集、調査研究を行い、「美しく品格のある邑」についての審査・登録事務を行う組織です。

ふじのくに美しく品格のある邑って?



若い世代と協力して 地域資源を活用 邑以外の人も集まる場所に

歴史的資源を再活用
耕作放棄地は
コミュニティガーデンに

80世帯270人程度の住民が住む小瀬戸。新東名高速道路新静岡SAへ向かう通り道でもあることから、車の往来は比較的多い地域です。

小瀬戸 こそと

静岡市葵区小瀬戸

- 車 / 新東名高速静岡スマートICより約5分
- 電車 / バス / JR静岡駅よりバスで約35分



event information

「小瀬戸クローバーフィールド」

BBQ、畑作り、川遊び、野草ピザ作り、竹の子掘り、炭焼き体験、蜂の巣箱作りなど、内容も様々。詳細はFacebookで。



小瀬戸城址や小瀬戸神社の他、駿府城の石垣のために石を切り出した石切場跡など、歴史的資源が多数残る地区。平成30年に地区の歴史資源の保全・普及活動しようとして「小瀬戸の文化と歴史を未来につなぐ会」を発足させました。代表を務めるのは小瀬戸で代々農業を営んできた森良之さん。そして、東京から家族で移住してきたステンドグラス作家の藤原俊さんが事務局を担当しています。

藤原さんは、昭和45年に郷土史を研究する人とともに石切場を発見した方の孫にあたるそうです。藤原さんの祖父が亡くなった後、石切場までの道のりは放置され、すっかり荒れてしまいました。それを2年ほどかけて切り開き、自分たちの手で石切場への道を復元。平成31年2月、小瀬戸石切場サクラ植樹会を開催しました。地元の方はもちろん、活動に関心を寄せた地元小学校の先生と子ども達や、SNSなどを通じて活動を知った親子連れなど、地区外からの参加も多かったそうです。令和元年度には地元小学校

の総合学習の授業で小瀬戸城址や地域の歴史を学ぶ場が設けられるなど、会の名前の通り、小瀬戸の文化と歴史を未来に繋ぐ軌跡になってきています。

地区外から人が来るようになったことで、地元の意識も変わり、耕作放棄地を貸し出したというようになったりと、小瀬戸の雰囲気も変わり始めました。同会の活動が縁で、地区外の方から小瀬戸の資源を使って新しいことができないかという声も多数上がって来ているようです。

また、藤原さんは、地元の耕作放棄地の活用を考え、令和元年にコミュニティガーデン「小瀬戸クローバーフィールド」を整えました。メンバーには地区外の方も多く、学校の先生、ヨガの先生、大工など、20〜50代の様々な職種が参加。活動は月1回程度、子連れの参加が多く、子ども達は畑仕事をやってみたり、野草や虫と触れ合ったりするなど、自然についても知ってもらえる場となっています。

藤原俊さん

「小瀬戸の文化と歴史を未来につなぐ会」事務局長。ステンドグラス作家。家族とともに東京から祖父母宅の小瀬戸へ移住。



里山ステンドグラス工房 サンクラフツ

事務局の藤原さんが営む工房。ステンドグラス体験ができる他、小瀬戸での様々な活動について話を聞くこともできます。(静岡市葵区小瀬戸1152 9:00~17:00 不定休)

- 令和2年5月に「小瀬戸山野草の会」を設立。石切場への道を整えたことで、山に陽が入るようになり、ハナイカダ、珍しい天然のフジバカマ、タマアジサイなどの山野草が目止まるように。
- 地元の有志が所有する山で竹の子掘りイベントを開催。竹林の整備に役立てる一方、収穫した竹の子から乾燥メンマを商品化しました。



「小瀬戸花いっぱい」の会には、地元の女性たち10人が参加。全国や静岡市などの花壇コンクールで数々の賞を受賞。花壇めぐりのイベント等も行っています。

邑びとメッセージ

外の人と地元の人とを繋ぐ活動をしたい

SNSで発信することで、口コミを通じた輪の広がりを感じています。メディアで取り上げられることも多いですね。今は空き地になっている広場に、住民が野菜などを持ち寄ることができる無人販売所も計画中です。ぜひ一度遊びに来てください。



森良之さん

「小瀬戸の文化と歴史を未来につなぐ会」代表。小瀬戸に住んで4代目。お茶・米農家。BBQで焼いて食べられたらとアマコの養殖も計画中。



- 石切場への登山口。大人の足で20分ほど。石切場をさらに上っていくと、ダイダラボッチの伝説が伝わるダイラボウという山へと繋がっています。
- 石切場跡。
- 平成31年と令和2年に開催された小瀬戸石切場サクラ植樹会。

企業との協働で生まれた 自慢のビオトープ 生き物との触れ合いを愉しむ場

毎年試行錯誤しながら
少しずつ生き物の住処をつくる

藤枝市街から瀬戸川沿いに北西に向かった先にある本郷。夏になると多くの家族連れが訪れ、川遊びを楽しむ様子が見られます。もともとはお茶やミカンの生産が盛んな地域でしたが、時代とともに農家の数が減り、多くの休耕地が生まれてしまいました。平成19年に発足した「本郷ふる郷普請の会」は、地域住民とともに里山の自然保全や、休耕地の整備のサポートを行っています。瀬戸川の清流のそばにある

「小田野沢ビオトープ」は、企業と農山村が手を取り合う「二社一村」のおか運動のもと、市内にある環境保全等の整備を行う企業「エクノスワタナベ」と協働で平成21年に生まれました。今では、瀬戸谷地区交流センター「藤の瀬会館」主催のもと、8月にビオトープや川の生き物と触れ合う「生き物観察会」、6月には「ホタル観賞会」を開催し、子ども達が自然の生き物と触れ合う場を提供しています。イベントを



令和2年8月の「生き物観察会」。水生生物なども見かけることができます。駐車場にはサクラ、アジサイ、カキ、モミジなどを植樹。



小田野沢ビオトープ

6月は「ホタル観賞会」、8月は「生き物観察会」を実施。ビオトープは常時開放されているので、ぜひ家族で訪れてみては。

生息する生き物をまとめた資料も作成



- ①ビオトープではこれまでにメダカの放流も数回実施しました。
- ②近隣の幼稚園の子ども達を対象に、休耕地にサツマイモを植え付け、収穫体験も実施しています。
- ③農地の草刈りや農道整備を行うことで、地域の耕作放棄地をなくす取り組みも行っていきます。コスモスやグラジオラス、ヒマワリなどを植えることで、お花見も楽しめます。

行く際には、エクノスワタナベから専門講師が訪れ、また学生ボランティアが加わるなど、毎年、盛況に行われています。

ビオトープには、絶滅危惧種であるメダカ、ホトケドジョウ、準絶滅危惧種であるモリアオガエル、ヘイケボタルも生息し、他にもアカハライモリ、トノサマガエルなど多種多様な生物を観察することができます。自然と触れ合う機会が減りつつある子ども達にとって、こういった場は貴重です。観察会で見つけた生き物は、持ち帰ることも可能。講師に育て方を聞くなど、子ども達も興味津々。子ども達が生き物を怖がることなく触れ合う様子は、今も昔も変わらないようです。

令和2年3月、同会はタマムシの住処となるエノキを植樹しました。寶石のように輝くタマムシは、阿克セサリーとして加工されることも。タマムシの養殖も検討中で、将来もしかしたらタマムシを使った阿克セサリーがこの邑の名産品になるかもしれません。

本郷
ほんごう

藤枝市本郷876 (藤の瀬会館・瀬戸谷地区交流センター)

- 国道1号バイパス谷稲葉ICより15分
- 電車・バス / JR藤枝駅から自主運行バス藤枝駅ゆらく線「瀬戸谷小学校前」下車(約30分)

邑びとナッセージ

生き物を通じて命の大切さを伝えたい

ビオトープを通じて、たくさん子ども達が自然に興味を持ってもらえれば、と考えています。生き物と触れ合うことは、命の大切さといったわりの心を学ぶ機会になります。若い世代や子ども達が楽しめる場作りをこれからも進めていきたいですね。

渡辺剛さん

「本郷ふる郷普請の会」事務局長。生まれも育ちも本郷。定年退職後、同会の活動に参加。



里山の保全活動によって多様な動植物が息づく本郷地区。山並みの向こうには富士山の姿も。

猪鼻湖が眼下に広がる三ヶ日地区。今や三ヶ日と言えばみかん。その知名度は全国区です。



水と緑と太陽の街 豊かな土壌で 育つみかんの里

絶え間ない努力と情熱が育てた
みかんのブランド

三ヶ日みかんの里

みっかびみかんのさと
浜松市北区三ヶ日町三ヶ日500番地の1
(三ヶ日協働センター)

- 車 / 東名高速三ヶ日ICから約5分
- 電車 / 天竜浜名湖鉄道三ヶ日駅
または都筑駅下車



浜名湖の西に位置する三ヶ日地区は、言わずと知れた全国有数のみかん産地。この地区で栽培されたみかんは「三ヶ日みかん」のブランド名で全国に知られています。

今こそ静岡県内のブランディング成功例として名高い三ヶ日みかんですが、その道のりは決して平坦なものではありませんでした。1970年代にピークに達したみかんの消費量は、農産物の輸入自由化などの影響で、他のフルーツの人気に押され、減少を続けました。全国のみかん農家は、ピーク時の6分の1ほどに減り、1970年代に360万トンを超えていた全国生産量も2017年には約74万トンと、ピーク時の5分の1まで減少したと言います。

三ヶ日では、生産過剰で市況が低迷していた1976年から地域をあげて、灌漑用水施設や農地の基盤整備などを行う、農業農村整備事業に取り組んできました。その結果、安定した水の供給が実現し、三ヶ日みかんの品質と生産力は大きく向上。生産技術革新にも積極的に取り組み、果樹園に農薬を散布する農機「スپردスプレーヤー」の導入を推進して、労力やコストを大幅に削減することに成功しました。近年でも、遮水と点滴かんがいを併用

した「マルチドリップかんがい」の導入を進め、さらに糖度が高く、付加価値の高いみかん栽培が可能になりました。こうした農業振興の実績が評価され、平成30年度農業農村整備優良地区コンクールの農業振興部門で、三ヶ日地区はみかん生産者として初めて、農林水産大臣賞を受賞しました。

技術などを、みかんの品質と合わせて農家に情報提供するそうです。個々の農家が品質向上に向けて最適な栽培方法に取り組むことができれば、三ヶ日みかんの品質と人気は、ますます磨かれることになるでしょう。

三ヶ日みかんの里の挑戦は、まだ終わりません。今後は、みかんの糖度、酸度、見た目など、選果機で収集したデータを地情報システム(GIS)上で集約し、園地ごとの植栽条件や栽培

後藤剛さん

三ヶ日みかん生産者のリーダー的存在コトウ柑橘園代表。静岡県農業経営士として地区内に耕作放棄地が出ないように見回りや対策を徹底中。



森田繁男さん

生まれも育ちも三ヶ日。元三ヶ日町農協組合長。現在は三ヶ日町工区連合会長として三ヶ日みかんの発展に尽力。

旨びとメッセージ

機能性表示食品でもある三ヶ日みかん、ぜひご賞味を!

三ヶ日みかんは11月から早生みかん、1月から3月までは青島みかんと長く楽しめます。みかんにはβ-クリプトキサンチンが含まれ骨の代謝に役立つ健康効果もあり、三ヶ日には元気な人たちが沢山います。私たちが丹精込めて作ったみかん、是非ご賞味ください。

event information

毎年1月の第2日曜日にJA三ヶ日本所で開催される「農協祭」。よさこい踊りやみかんのつかみ取りなどの催しがあり、子どもから大人まで楽しめます。



旨いに来て!

「濃密青島」みかんの皮を剥いて絞った究極の100%ストレート果汁「極」。8本3,613円。ふじのくに新商品セレクション最高金賞受賞。オレンジ母ちゃんを作る、みかん果汁が入った焼肉のタレは1本494円。どちらもJA三ヶ日のホームページで購入可能。



- ①みかんの収穫は今も昔も手作業。11月中旬～12月中旬の収穫時期は人手不足になるので、みかん栽培に興味のある方はJA三ヶ日まで問い合わせを。
- ②作業効率を上げたスピードスプレーヤー。現在は約350台が稼働し、農地の約40%に農業散布を実施。将来は70%を目指すそうです。
- ③大人気のみかん日あおしまみかんジュース。県内のスーパーやJA、JAのホームページなどで購入できます。
- ④加工グループ「オレンジ母ちゃん」の皆さん。みかんの加工品を作りJAの店舗やイベントなどで販売しています。



荒れ野原を美しい花畑に変えた 日本一前向きな地区！

行政と市民が力を合わせて
自分たちの地域を活性化

湖西市の前向地区は、数年前まで人の背丈を超えるセイタカアワダチソウが生い茂り、うっそうとした耕作放棄地が広がる地域でした。その状況は、周りにある美しい田園の景観を損ねるばかりか、事故や事件への不安もあり、地元の人でさえ散歩をためらうほど荒れていたと言います。そこで立ち上がったのが、地元有志で組織されたNPO法人ハピネス湖西です。

ハピネス湖西の主な活動は、湖西市の耕作放棄地を花畑にかえること。市内の前向地区で「のかな田園風景」をPRポイントに

掲げ、季節やエリアごとにヒマワリ、菜の花、コスモスなどの花をあたり一面に咲かせています。活動の主体はハピネス湖西ですが、地元住民とも積極的に連携して草刈りや伐採を行い、2.6ヘクタールの耕作放棄地を花畑として復活させました。

活動によって生まれ変わった前向地区では、朝晩に地元の人たちがウォーキングを楽しみながらになりました。現在は、その取り組みをSNSなどで知った人たちも、いわゆる「インスタ映え」すると注目し、一面に咲き誇る花畑や、すぐそばを走る電車の撮

日本一前向きな花畑「前向花畑」。季節やエリアごとにヒマワリやコスモスなどが次々と咲き乱れます。その光景は圧巻！



見に来て！

日本一前向きな花畑。季節、時間帯、天気によって、いろいろな表情を見せます。



日本一前向きな地区！前向

にはんいちまきむきなく！まきむき

湖西市岡崎1667 (前向公園)

●車/東名高速三ヶ日ICから20分



荒れ放題だった、かつての前向地区

event information

10月上旬に向日葵とコスモスを楽しむイベントを開催予定。詳細はハピネス湖西のフェイスブックまたはインスタグラムをチェック。



- ①地元の園児を招いて、花の種まきを行っています。
- ②地元の人達の憩いの場、子供達の遊び場として蘇った前向地区。
- ③ふるさと納税の返礼品(ふるさとチョイス)として花畑のオーナーになれます(期間限定)。記念ギフトとして花畑を贈れば一生の思い出になりそう。



こぼれ話

前向の花畑を浜名湖西岸の「新名所」に。

日本一前向きな花畑を目指して、そして浜名湖西岸の観光の目玉になれるように、今後もみんなで力を合わせて頑張りたいと思います。この美しい前向地区の花畑をぜひ見に来てください。

菅沼泰久さん

NPO法人ハピネス湖西理事長。前向地区活性化の発起人、主に花畑部門を担当。



内藤則一さん

前向会会長。耕作組合の前会長。現在は前向地区で稲作を営む。

影を目的に、このエリアを訪れるようになりまし。

湖西市の観光スポットとして認知され始めた前向地区は、湖西市の食イベント「元氣湖西プロジェクト」などともコラボして、様々なイベントを行っています。最近では、

県外からコスプレ好きの若者が訪れて花畑を背景に写真の撮影をしたり、開放的な広場を求めてペット連れの人たちが訪れたりするようになりまし。

「今後はそんな交流スポットとしての情報発信にも力を入れたい」とハピネス湖西の理事長・菅沼泰久さんは語りま

す。

湖西市では、ふるさと納税の返礼品として、花畑のオー

ナー制度を設けました(期間限定)。100mの花畑オーナーになると、種をまいてから花が咲くまでの写真をメールで受け取るができます。

前向きな発想と心意気で、未来に花を咲かせる前向地区。その取り組みは今後も要チェックです。

「棚田地域振興法」制定など
棚田を取り巻く
環境が変わるなか、
活動に取り組む人々の
姿を特集します。

静岡県ふじのくに美しく品格のある色づくり産地
小谷あゆみの
「むらレポ」
Vol. 17



倉沢の多くは
お茶農家

棚田女性部
(24人)による
福刈り弁当は
大好評



今年はイノシシ被害で酒米は全滅。課題は尽きませんが耕し続けます



わしでも早さは
追いつかん。
恐れ入りました!

もう植えるところはないかい。
こんなの朝めし前だよ



昭和40年代の田植え風景



千框の棚田

せんがまちのたなだ
静岡市倉沢1121-1
●車/東名高速相良牧之原IC→国道473号
バイパス島田・空港方面→倉沢IC→上倉沢
公会堂(相良牧之原ICから約10分)



今回は、
オンラインでの
取材でした

小谷あゆみ
フリーアナウンサー/農業ジャーナリスト
野菜をつくるベジアナとして農ある暮らしを提唱。全国の農村を取材。NHKEテレ「ハートネットTV 介護百人一首」司会、ブログ「ベジアナの野菜畑チャンネル」
静岡県ふじのくに 美しく品格のある色づくり推進委員、農林水産省世界農業遺産等専門家会議委員
棚田学会評議員

棚田のあたらしい時代

老人力! 若者力! みんなが活躍する棚田

お茶農家が棚田を再生
オーナー制で都市を巻き込む

静岡県菊川市倉沢にある「せんがまちの棚田」は、千の框(かまち)の段差にある横木(玄関)の名の通り、形も大きさも様々な田んぼが見渡す限り階段状に続く、それは見事な里山景観です。
昭和40年ごろには3000枚、10haの耕作面積を誇りましたが、時代の波とともに放棄され、一時は1割ほどの面積になっていました。
そこで平成6(1994)年、当時農協青年部のリーダーだった山本哲さん(71歳)が立ち上がり、「自分たちが子供の頃、ドジョウやウナギを捕って遊んだ場所がこのままではなくなってしまう。それは自分の子ども達が遊び場を失うことになる。こんな荒れた棚田を見たらご先祖が泣くぞ」と、同じ倉沢地区で会社員を経て茶農家を継いでいた堀延弘さん(63歳)や農家仲間と声をかけ、棚田復活に向けて動き出したのです。
平成11年「静岡県棚田等十選」に認定されると、ボランティアも集まるようになり、平成22年には、NPO法人「せんがまち棚田倶楽部」を設立し、棚田オーナー制度を取り入れました。

年間32000円のオーナー料で15kgの棚田米が保証され、今年は38組の申し込みがありました。いつもは600人以上が集まるにぎやかな田植えも、今年はコロナの影響で200人にとどまりました。
せんがまちに欠かせない若い力は、静岡大学・棚田研究会の学生たちです。2009年に発足し、現在は60人。月2回ほど農作業をサポートし、田植えや稲刈りのイベント時にはインストラクターとして活躍してくれました。11代目部長の志田綾香さんは沼津市出身の3年生。自然や生き物に触れ、体を動かすこと、スガイ(わら縄)作りで地元農家の技を習うのも棚田の魅力だそうです。
ただ今年にはコロナで静大たな研の援農もままならず、手で植えるしかない小さな棚田は大ピンチに陥りました。それを救ったのは80代の地元農家のお母さん達です。困った山本さんが頼みに行くと、「もう歳で戦力にはなれないよ」とはじめは遠慮がちでしたが、いざ当日になると、深津さん、堀さんをはじめ全員80代の5人が完璧な農家スタイルで集まり、いつもは学生30人ほどが半日がかりで植えるところを、1時間あまりで植え終え、他に植えるところはないかと余裕でおっしゃったそうです。これには

静大の若者力に加えて危機を救ったせんがまちの母五人衆



ニホンアマガエル

昨年度の田植え風景。参加型のあたらしいスタイルを検討中



山本さんたちもびつくり仰天! 八十を過ぎてもお母さん達の熟練の技は健在だったのです。
また全盛期を支えてきた「せんがまちの母」達は、今回、若い衆の棚田保全活動を見守るだけでなく、自ら力になれて嬉しかったのではないのでしょうか。誰かの役に立ち、喜ばれることはいくつになっても生き甲斐となり、生きる意欲をもたらします。
棚田の役割はお米の生産だけではなくありません。地域の歴史を物語る文化遺産であり、社会的共通資本です。若い力、外の力、長老の力、様々な立場の人を巻き込むことは、手伝って「もらう」と同時に、活躍の場を「提供」することでもあるのです。多様な生き物を育むせんがまちの棚田ですが、なにより豊かなのは人の心。今のような時代の変わり目にこそ、人がいきいき力を発揮させる舞台としての棚田に価値があるのです。



左から、NPOせんがまち棚田倶楽部 堀延弘事務局長、山本哲理事長、静大たな研 志田綾香部長、部員の皆さん



現在のポーレポーレ(左)と旧小学校(右)。「思えば、この場所はいつでもこの邑のシンボルです」と和泉さん



下田市は綺麗な海が有名ですが、下田市から松崎町へ向かう途中の山には、魅力的な農村集落、加増野があります。今回は、旧加増野小学校の跡地で、邑の活性化の拠点である農産物加工所「加増野ポーレポーレ」を訪問しました。「ポーレポーレ」はスワヒリ語で「ゆっくりのんびり」という意味があり、その名のとおり、ゆっくり存分に楽しめる場所でした。

はじめての「そば打ち」に挑戦

和泉さんをはじめ、加増野の人達は邑の保全や伝統的な手作りの食文化を次世代に伝えるために、20年前「加増野ポーレポーレ」の運営を始めたそうです。この施設では、そば打ち、みそやこんにやく等の手作り体験ができ、子どもから大人まで幅広く人気があるそうです。外国人の観光客もたまに来るようですが、あまり人数は多くないそうです。

ビザ寮はなんと手作り!主婦や大学生など、幅広く人気です。

私達は、そば打ち体験で、一時間ほど一生懸命手打ちそばを作りました。フィリピンはそばを食べる習慣がないので、私にとって、初体験のそば打ちは簡単そうに見えましたが、実際にやってみたら体力、技の必要性を実感しました。その後、自分の手打ちそばが入っている「天せいろ」をいただきました。山菜の天ぷらと手作りそばの組み合わせはとてもおいしかったです。



地域が一体となって邑の伝統を守る

加増野の邑では「加増野ポーレポーレ」の運営のほかに、大豆、小麦、つる首かぼちゃの栽培も行っていますが、今夏は、猪や鹿等による被害を受けたため、収穫できなくなってしまったそうです。農業従事者が減るなど、邑の農業活動を取り巻く状況は難しい部分もあるようです。それでも邑の人々は、体験施設の運営、耕作放棄地の再生活動、毎年8月11日に開催される報本寺の山随院権現祭「幡廻し」など邑に残る伝統を守りつづけていきたいと話していました。それだけでなく、

将来、地域に多く残されている立木を使って邑にログハウスを建て、若い方の移住や農業従事者を増やしたいとも話していました。このような展望を聞いて、加増野は共同体意識が強い邑だなと思いました。

今回の取材を通じて、日本の伝統文化に触れ、加増野の住民の伝統を保護する努力に感動しました。一緒に訪れたターニャさんは、「アメリカ・ネブラスカ州の農村地区も同じ課題を抱えています。ただ日本の場合、地域の人々が協力して課題に立ち向かっていると思います。」と話していました。

加増野では、美しい農村風景が楽しめ、その上で住民からのおもてなしを十分感じることができました。(文:パルマ・パメラ)



下田市加増野481-3 (加増野ポーレポーレ)

- 車/東名高速沼津ICまたは新東名高速長泉沼津ICから、国道414号→県道15号線を約100分
- 電車・バス/伊豆急行下田駅から東海バス「松崎・堂ヶ島」行きで「加増野」下車



下田市北部、娑婆羅山の峠からふもどにかかるとなる中山間地域です。下田港まで至る稲生沢川の流域を中心に、緑豊かな里山の風景が広がっています。邑の中心となる「加増野ポーレポーレ」は今年で開業20周年。地域や世代を越えた交流の場として、歩みを続けています。

左から、加増野ポーレポーレ渡辺さん、和泉さん、パメラさん、ターニャさん、富永さん、鈴木さん



簡単だと思っていたらさあ大変!

「つながる」ことによって可能性が広がる

「つながることによって人は元気になる」が私たちの部のモットーです。農家と加工・販売業者がつながる、高校生とお年寄りがつながる等、つながることによって人は元気になると考え、「つながること」「つなげること」を意識して活動しています。

今までに水窪町の天然麹菌を採取し、その菌を利用した純米酒「清流の酒みさくほ」や水窪の在来作物「じゃがた」の芋焼酎「みさくほの恵」を開発しました。私たちだけでお酒ができるわけがありません。多くの皆様方に協力していただき完成しました。つながることで、可能性が広がっていくことを実感しています。その他にも、特産物である雑穀「タカキビ」と猪肉を利用した「たかきびキーマカレー」も開発しました。どれも、水窪町応援商品であり、高校生が水窪の地域資源を利用した商品です。

地域活性化プロジェクト ~「つながる」ことで人は元気になる~

水窪発酵民宿「花笑み」に挑戦

商品開発をしても、来町者が増えたわけではありません。商品開発だけでは地域の活性化は難しいため、大勢の方々に水窪町に来ていただく仕組みが必要だと考え、空き家を利用した民宿づくりを3年前からNPO法人こいねみさくほと連携して挑戦しています。民宿のセールスポイントは、水窪町のお年寄りが講師をしてくださる体験教室です。「農業(雑穀)体験」「溪流釣り」「草木染め」「ニホンミツバチの講話・見学」等、水窪町の自然と文化を堪能できる教室ばかりです。他町の農家民宿と差別化を図るため、高校生が開発した発酵(麹)調味料を自由に利用でき、甘酒づくり等の発酵体験もできる発酵民宿「花笑み」としました。

しかし、リフォーム費用が不足するという大きな課題に直面しました。そこで、昨年はクラウドファンディングを行い、資金を募りました。大勢の方が支援をしてくださり、つながりの温かさを身にしみて感じました。今年の夏に開業予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大のため泣く泣く延期をしました。一日も早く、皆様方に水窪町の魅力をつなげていけることを切に願っています。

文:望月香里(食品サイエンス部長3年)

藤枝北高校食品サイエンス部は、天然麹菌を採取し、発酵をテーマに様々な活動に取り組んでいます。そのひとつに浜松市天竜区水窪町との地域活性化プロジェクトがあります。私たちが習得した発酵の知識・技術を生かして、商品開発や発酵民宿の創造に挑戦し、水窪町の活性化を行っています。

フィールドワーク レポート 藤枝北高校

静岡県立藤枝北高等学校は100年の伝統を礎にした総合学科です。「園芸科学系列」「食品科学系列」「情報科学系列」「環境化学系列」「人間社会系列」「自然科学系列」の6系列によって、進路希望に沿った学習ができます。



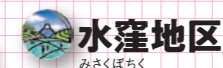
雑穀「タカキビ」を使った「たかきびキーマカレー」(左)



藤枝北高校が開発に協力したお酒たち。水窪地区と協力した「みさくほの恵」(左)と「清流の酒みさくほ」(右)は水窪町の商店で購入可能。地方発送も対応。



茶摘み体験の様子。体験教室をしていただけるよう、一軒一軒お願いに歩きました



水窪地区 浜松市天竜区水窪町

- 車/東名高速浜松ICから約120分、新東名高速浜松北ICから約90分、中央自動車道飯田ICから約180分
- 電車・タクシー/JR飯田線水窪駅から徒歩約15分



発酵民宿「花笑み」の玄関。オープンを心待ちにしています。



民宿開業の実行委員会!総勢約40人で、「オー!」

浜松市街地から車で約1時間30分、北部の山間地に位置し、山々と清流に囲まれた自然豊かな農村地域です。長野県との県境で開催される「峠の国盗り綱引き合戦」や、7年に一度水が湧き出す幻の池「池の平」は全国的にも有名です。(有)春華堂とNPO法人こいねみさくほが協力した在来作物を使用したお菓子の製造販売をはじめ、地域資源を用いた都市住民との交流が活発に行われています。

5 岩本山とかりがね堤を守る邑

ソバの花畑

「岩本山とかりがね堤を守る会」が、岩本山丘陵地やかりがね堤の耕作地で栽培しているソバは、秋に花の見頃を迎えます。秋晴れの青い空に映える富士山と白い花。美しいコントラストが見事です。

秋晴れの風に揺れる
白いソバの花畑

〒富士市岩本1339-2、807-1
松岡1962-1-1、1962-3
☎0545-61-0960
(富士市農協岩松支店)
☎090-1416-8875(代表:望月)
●期間/10月上旬(予定)
●交通/車:東名高速富士ICから約20分、富士川スマートICから約10分
新東名高速新富士ICから約20分
電車・バス:JR身延線袖木駅から徒歩約10分(岩本山公園へはJR富士駅から月～土運行のコミュニティバス「こうめ」利用)
※駐車場なし



6 大淵笹場

緑茶・紅茶ティーパックセット

絶景「大淵笹場」で生産されたお茶のセットを、JR東海通販サイト「いいもの探訪」で販売しています。紅茶は、昨年度の「ふじのくに山のお茶100選」に認定されました。(各3g×8袋、税込3,294円)

山のお茶100選に認定!
大淵笹場のお茶セット

美しく整えられた茶園。紅と緑のコントラストに富士山が映えます。



〒富士市大淵1516(旧藤田邸)
☎0545-55-2781
(富士市農政課)
●交通/車:東名高速富士ICまたは、新東名高速新富士ICから約10分
電車・バス:JR富士駅または富士急静岡バス吉原中央駅または曾比奈・ふじやまくすのき学園行きバス「曾比奈下」下車、徒歩20分



これが話題のお茶セット!
お買い求めはコチラから!



花畑を富士山のすそ野に見立てた富士山アート!!



西洋菊で彩る富士山とのコラボ

ざる菊(クッションマム)のお花畑

地域活性化のために地元住民の手で作られた富士山の眺望スポット。赤・黄・白のクッションマム(西洋菊)と、冠雪した富士山が美しいコントラストを描きます。必見です!



隣接する閑地に駐車可能です。

9 南条の里

〒富士市下条(牧野酒造 北側)
☎0544-22-1148(富士市農業政策課)
●期間/10月下旬～11月上旬
●交通/車:東名高速富士ICから約35分、新東名高速新富士ICから約30分
電車・バス:JR富士宮から富士急静岡バス上条行き(約35分)「大門下」下車



8 内房の里

〒富士市内房(新長田橋もと)
☎0544-22-1148
(富士市農業政策課)
●期間/10月下旬～11月中旬
●交通/車:新東名高速清水ICから車で約10分
電車:JR身延線芝川駅下車、徒歩約25分



7 富士山のふもとの郷を守る邑

浮島ヶ原自然公園

国道1号バイパスからわずか1分。浮島ヶ原の湿原には、環境省のレッドリストや静岡県版レッドデータブックに載る貴重な動植物が生息しています。土日・祝日に行われる、ガイドによる公園案内も好評です。

富士の麓に広がる湿原は
貴重な動植物の宝庫!

〒富士市中里2553-8
☎0545-31-0330
(土日祝のみ:浮島ヶ原自然公園管理棟)
●時間/9:00～17:00
(管理棟)
●交通/車:東名高速富士ICから約30分
電車・バス:富士急静岡バス吉原中央駅またはJR沼津駅から富士急静岡バスで「東田子の浦駅」下車



園内の風景。湿原と富士山がきれいに見えます。

むらとりっぷ mura trip in 富士・富士宮 エリア

「ふじのくに美しく品格のある邑」をエリアごとに案内する「むらとりっぷ」。今号は富士山のおひざもと、富士・富士宮エリアの絶景ポイントや特産品を紹介。「ふじのくに」の魅力を再発見してみませんか?



道沿い一面に彼岸花の鮮やかな赤色が広がります。



浮島ヶ原自然公園(富士山のふもとの郷を守る邑)



白糸庵の外観。オレンジの看板が目印です。

4 白糸の里

富士山白糸庵

富士山を仰ぎながら手打ちそばを堪能!

地元の住民有志が経営する手打ちそば処。建物の目の前には、雄大な富士山と温かな農村風景が広がります。手作りの味でゆったりとした時間を満喫したあとは、付近に広がる「平成棚田」を歩いてみるのも良いかもしれません。

〒富士市原1199-2
☎0544-54-3050
●時間/11:00～15:00 ※コロナウイルス感染防止のため、短縮する場合あり
●休日/火曜
●料金/1,000円程度
●交通/車:東名高速富士ICまたは新東名高速新富士ICから約35分
電車・バス:JR富士宮駅から富士急静岡バス「猪の頭行き」まで「白糸保育園前」下車



1 袖野の里

袖野の棚田群と富士山

富士山と棚田の絶景コラボ!

地域全体が棚田で構成される美しい景観として、袖野の棚田群は、静岡県棚田等十選に選ばれています。なかには、棚田を作る際に出てきた石を自然に積みあげた、石積みの棚田も。棚田でつくられる農作物と、秋空に広がる富士山の景観をお楽しみください。
※棚田群を見る際は公園から見学してください。

〒富士宮市鳥並-西山・猫沢・上稲子
☎0544-22-1148(富士宮市農業政策課)
●交通/車:東名高速富士ICから県道182号線経由で約40分
電車・バス:JR身延線富士宮駅から富士急静岡バス「上袖野」行きで25分、「袖野公民館」下車



袖野の棚田群と富士山。牧歌的な景色に心が和みます。

2 天子ヶ岳の里

彼岸花ロード

昔ながらの田園風景を次世代につなぐため、地元住民が彼岸花を植栽しています。天子ヶ岳、富士山、田園風景が織りなす絶景を背に咲く彼岸花。地域のふるさと愛がふれています。
※「彼岸花コンクール」は、今年度は中止

〒富士宮市半野 熊久保農村公園朝日滝北側など
☎0544-22-1148
(富士宮市農業政策課)
●期間/9月中旬～末
●交通/車:東名高速富士ICまたは新東名高速新富士ICから約30分



3 五感で癒される湧水の里いのかしら

陣馬の滝

紅葉と歴史に触れてリフレッシュ!

滝壺まで近づくことができる珍しい滝です。源頼朝が、狩りの際に陣を張ったことが名前の由来。紅葉は例年11月の中旬ごろ。黄色に染まった木々のなか、大迫力の滝を味わってみませんか?

〒富士宮市猪之頭529
☎0544-27-5240(富士宮市観光協会)
●交通/車:新東名高速新富士ICまたは東名高速富士ICから約45分



滝壺まで降りれば心身ともに癒される陣馬の滝。

開催未定

湖西市 日本一前向きな地区! 前向コスモス祭り
10月上旬 ※雨天中止
前向花畑で見頃のコスモスと遅咲きのヒマワリが鑑賞できる。...

森町 天方 11月中旬 オープンハウス ぶぶふの日記
人・自然の暮らしぶりを味わう山めぐり
天方・三倉地区

伊豆の国市 浮橋 12/6(日) 浮橋そばの里祭り
地元産そば粉を使用した手打ちそば・地場野菜の販売

浜松市 久留女木の棚田 ~竜宮小僧伝説の邑~
12/13(日) 13:30~16:00
収穫祭 ※10月下旬に開催判断

久留女木の棚田 ~竜宮小僧伝説の邑~
12/13(日) 13:30~16:00
収穫祭 ※10月下旬に開催判断

丹那 11月下旬~ 大根収穫体験
大根の収穫体験(野菜の育成状況や天候等によりお休みの場合あり)

December 12月~

丹那 12月中旬の土日 大根まつり
大きな大根や大根メニューの販売等(野菜の育成状況や天候等によりお休みの場合あり)

菊川市 千框の棚田 12/12(土) 9:00~12:00
そば打ち・しめ縄作り
そば打ちとしめ縄作りを体験

毎月開催

浜松市 地域いきいき共生! 恩地町環境みどり会
毎月第3日曜 9:00~9:30 ※売完次第終了
みどり朝市

富士市 袖野の里 11月 信長公黄葉まつり
信長公首塚に纏わる供養祭から始まり、武者行列・火縄銃演武など盛りだくさんのイベント。

富士市 白糸の里 11月頃 平成棚田ウォーキング大会
5月開催予定だった「平成棚田ウォーキング大会」を秋に延期しましたが、残念ながら中止にしました。

河津町 伊豆見高入谷高原 11/23(月・祝) 10:00~14:00
伊豆見高入谷高原温泉 紅葉ふれあいまつり

三島市 三島箱根西麓地区 11月下旬 三島フードフェスティバル
三島グルメや箱根西麓三島野菜などの特産品を多数集め「食と食育のまち三島」をPR

浜松市 ほとと龍山 11/15(日) 10:00~15:00
山芋掘り体験・とろろご飯試食・亥の子ぼたもちづくり

富士市 袖野の里 11/21(土) 9:00~15:00
芝川日和「袖野の里まつり」
規模を縮小して開催します。詳細についてはお問合せください。

富士市 富士山縄文の里「大鹿館」
富士宮市大鹿窪1556
※最寄りの駐車場からシャトルバス運行

菊川市 千框の棚田 11/28(土) 9:00~12:00
上倉沢公会堂ほか
茶草場農法体験会、菜の花種まき

森町 一の宮の里 11月下旬 小國神社紅葉見頃
川沿いの散歩道で紅葉が楽しめる。

今年度は中止となりました。次回開催をお楽しみに

浜松市 水窪地区 10/25(日) 10:00~13:00
峠の国盗り綱引き合戦
県境をかけて遠州軍(水窪)と信州軍(南信濃)が綱引きを行う。

浜松市 水窪地区 11/8(日) 10:00~15:00
水窪町商店街通り
商店街通りを歩行者天国にして、食品や特産品を販売

島田市 神座鶴岡 10/25(日) 神座・大井神社祭典
天狗が登場する古から続く伝統的な式典。毎年秋頃に開催され、一般の方も見物できる。

浜松市 竜ヶ岩山~西四村の里~ 10/25(日) 9:00~ 稲刈り体験
家族・親子みんなで稲刈り、収穫体験

菊川市 千框の棚田 10/31(土) 9:00~12:00
棚田オーナー脱穀
刈り取った稲の脱穀体験

森町 森町南部 10~11月 治郎柿の収穫時期
皇室にも献上される森の特産品、治郎柿の収穫時期

浜松市 夢未来くんま 11月上旬 ヴェリーファーム 果樹の植栽作業体験
空き農地を利用し、土地にあった果物を栽培

富士市 内房の里 11月上~中旬 ざる菊畑が見頃
県道沿いの遊休農地1100㎡にざる菊1500本が開花

御殿場市 沼田ロマンチック街道 10/24(土) 18:00~ ※雨天中止
県指定民俗無形文化財 湯立神楽

富士市 丹那 10/24(土)・25(日) ORATCHE HAPPY HALLOWEEN PARTY
畑で焼きいもPARTYやかぼちゃメニューの販売等を開催



川根本町 緑結びの村のわき 10/11(日) 八幡神社祭典
様々な良縁祈願計七神社を祀っている八幡神社の年に一度の祭典

浜松市 久留米木の棚田~竜宮小僧伝説の邑~ 10/18(日) 13:30~19:00
稲刈り体験会
大河ドラマ「おんな城主 直虎」のロケ地にもなった棚田での稲刈り体験会

伊豆の国市 浮橋 12/6(日) 浮橋そばの里祭り
地元産そば粉を使用した手打ちそば・地場野菜の販売

丹那 10月中旬~ さつまいも収穫体験
さつまいもの収穫体験(野菜の育成状況や天候等によりお休みの場合あり)

菊川市 千框の棚田 10/24(土) 9:00~12:00
棚田オーナー稲刈り
棚田のオーナーが自身の棚田の稲刈りを体験

御殿場市 沼田ロマンチック街道 10/24(土) 18:00~ ※雨天中止
県指定民俗無形文化財 湯立神楽

丹那 10/24(土)・25(日) ORATCHE HAPPY HALLOWEEN PARTY
畑で焼きいもPARTYやかぼちゃメニューの販売等を開催

Event Calender 10月のイベントカレンダー 2020 autumn

あなたのご意見をお聞かせください
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県経済産業部農地局農地保全課

October 10月~

焼津市 方ノ上 10月上旬 芋掘り会
6月に蔓挿しをした畑で芋掘り。焼き芋にして頂く。

焼津市 方ノ上 10月上旬 餅つき大会
地元で収穫した古代米で餅つき。つきたてを美味しく頂く。

浜松市 夢未来くんま ノルディックウォーク
①10/11(日)、11/1(日) 黒滝
②10/11(日)・18(日) 大葉安棚田

天竜区熊地内
①くんま水車の里第4駐車場
②健康長寿の邑くんま ノルディックウォーク事務局

